

06.5.11 一新塾名古屋勉強会 定例会記録

日時 平成18年5月11日(木) 19:00~21:30

場所 名古屋ボランティアNPOセンター

出席 岡野、加部、近藤、宮田

記録 宮田

1 NPO まちづくり協働研究所設立について(宮田)

まちづくりを包括的に進めるためのコーディネート機関としてNPOを立ち上げる。法人申請は8月を予定。多文化共生を切り口として市民発のアジェンダを策定するローカルパーティとしての機能ももつ組織とする。

宿場のマップづくり、多文化共生、テーマを絞ってアプローチすべきとの意見が出た。

2 マクロビークルプロジェクト!(岡野)

前回のマザーリーフに関しては、女性が主体的に実行し、一人歩きするようになったため、現在は手を離している。

現在取り組んでいるのが「シティコーミング」(まちの清掃)と「マクロビークル」(体にやさしい食品を公害のない自転車で提供)の2点。CSR広告の獲得を狙う。

マクロビークルに関しては、協力的なパートナーを得ることができ、また経産省の助成事業の1次審査を通り順調に進んでいる。

店舗を持つ話も出ており、そこで一新塾のワークショップ等もできる。

3 合資会社社会システム経営研究所(近藤)

現在白井さんとともに合資会社社会経営システム研究所を立ち上げた。

主旨は、今まで取り組んできた「納税者の権利」と同様で、具体的な情報サービス、コンサルティング、システム提案等のサービスとして提供するための法人組織。

特に議員対象に顧客を広げ、全国に納税者の権利ネットワークを構築する。

4 今後の一新塾名古屋の活動について(二新塾にて)

一新塾16期も終わりを迎え最初と思うと参加者が減っている。また、前回の合宿では大阪の勢いに押されている。

名古屋としては、「1人1プロジェクト」を課題とし、各自が磨きをかけるとともに以下のようなコンテンツを準備し、参加価値とソーシャルイノベーションに向けた共有知識の構築をはかり、一新塾名古屋独自の価値をもたらす。

出たアイデアとしては以下のようなものがあり、今後その内容を検討する。

- 1) 1人1プロジェクトをテーマに冊子編集、プロジェクト発表会(合宿?)を毎年開催する
- 2) 新規塾生等が各自のプロジェクトに協力し意見交換を行うケーススタディプログラムを作成する
- 3) 年に2回自主的な視察を行う(テーマとして政策的なもの和社会企業的なものの各1回ずつ)